



PRINCE
TOMOHIITO
MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX

東日本大震災復興支援

第9回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2021年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

16th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 10:30開会式 15:10表彰式

2022年2月27日(日)

主催 日本学生自転車競技連盟
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



ウェブサイト

大会特設 <https://princetomohito-memorial-wgp.com/>
外苑クリテ過去大会アーカイブ <https://gaiencriterium.tokyo/>
日本学生自転車競技連盟 <https://jicf.info/>

インターネットライブ動画

<https://youtu.be/gQJpDe4TmE0>



競技速報 Twitter

https://twitter.com/jicf_jimukyoku



明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前
外苑
CRITERIUM
CYCLE ROAD RACE

nichiniao

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

Innovation & Action
INOAC

DE ROSA

CYCLOCHANNEL
シクロチャンネル cycloch.net

CYCLES-YOKOO

Gibraltar
ジブラルタ生命

PEARL IZUMI

NALSIMA
www.nalsima.co.jp

Kabuto

selleitalia



SLR BOOST



SLR BOOST TM SUPERFLOW (Manganese Tube)

重量: S 208g L 210g

サイズ: S 130×248mm L 145×248mm

一般販売価格: ¥19,800(税込)



SLRはselleITALIAの代表的なレーシングサドルで、SLRの名(SUPER、LIGHT、RACING)の通り、軽量に作られていることもSLR BOOSTシリーズの特徴です。そのバリエーションはトップの穴あき(SUPER FLOW)、穴なし、3種類のレールで構成される6種類。サドルレールはハイエンドのカーボンレール、多くのモデルに採用されるTi316レール、そしてコストパフォーマンスに優れるマンガネーゼチューブレールの3種類で、マンガネーゼレール搭載のSLR BOOST TM/SUPER FLOWは、SLR BOOSTの性能を手軽な価格で体感できるモデルです。

第16回明治神宮外苑大学クリテリウム大会出場校の皆さまへ

弊社ブースではselleITALIA SLR BOOSTを展示中。またテストサドルを会場内で貸し出しいたします。希望者は大会本部並びの弊社(日直商会)ブースまでお越しください。また、本部受付で配布した資料の中に、特別販売の注文書を同封しましたのでご確認ください。不明な点は弊社ブースのスタッフにお訊ねください。

<https://nichinao.jp>





PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX



「寛仁親王記念ワールドグランプリ」の開催にあたって

大会顧問 小山田 齊

寛仁親王殿下の活動の中心、4本の柱は、「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」でした。殿下の「障害者福祉活動」のスタートは1970年代初め、障害者が自立をめざして本格的な運動を始めた時期でもあります。東京「身障友の会」活動に端を発した障害者の自立運動は「愛知県重度障害者の生活をよくする会」そして「仙台ありのまま舎」などにも広がり活発化しました。この、ユニークな福祉活動を行う「身障友の会」との出会いがきっかけで殿下の「身障友の会応援団」が誕生します。寛仁親王殿下は以後様々な障害者福祉活動に取り組みになりますが、障害者スポーツの先駆けとなる「障害者スキーの普及」もそのひとつでした。殿下が制作なされた障害者スキードキュメント映画「JOY TOGETHER」は世界の注目を集め1978年「第1回国際赤十字映画祭グランプリ」をはじめ国内外の賞を受賞しています。「スポーツ振興」活動としては1990年、名誉総裁をつとめられた「世界選手権自転車競技日本大会」以降「自転車競技振興」にも大きな指導力を発揮されてきました。

「寛仁親王殿下」プロフィール

寛仁親王（ともひとしんのう）

1946年神奈川県生まれ。三笠宮崇仁親王の第一男子。1968年学習院大学卒業後、オックスフォード大学へ留学。活動の中心は障害者福祉・スポーツ振興・青少年育成・国際親善の4本柱。スポーツマンとしても知られ、日本職業スキー教師協会総裁として障害者スキー指導では先駆者的存在。皇族らしからぬ飾らぬお人柄は庶民的な人気を得「ヒゲの殿下」の愛称で親しまれた。

1990年世界選手権自転車競技日本大会で名誉総裁、以降自転車競技選手強化システムの構築などに主導的な力を発揮。1991年、下部食道癌の切除手術を受けて以降も様々な活動を精力的にお続けになる。1995年、自ら総裁を務める、仙台ありのまま舎の常務理事で筋ジストロフィー患者・山田富也、一級障害者手帳を持つ作家澤地久枝と共著で「いのちの時間」を出版。

1991年以降、16回の手術という想像を絶する困難のなか信念とする活動を精力的に続け、2012年6月6日薨去。

著書に「皇族のひとりごと」「思いでの昭和天皇」「今バールを脱ぐジェントルマンの極意」など。

「寛仁親王殿下と自転車競技」

寛仁親王殿下は「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」の4本の柱を活動の中心据えてこられました。「ヒゲの殿下」の皇族らしからぬ、庶民的で飾らぬ言動は皇室をかつて無い程に「開かれた存在」にしました。

様々なスポーツと親しむなか、特にスキーに関しては日本職業スキー教師協会総裁をつとめ、障害者のスキー指導に於いては先駆者的な存在で知られます。

自転車競技に関しては「1990世界選手権自転車競技大会」名誉総裁をつとめて以来「選手強化／底辺拡大」に関する事業等で大きな指導力を発揮なさいました。なかでも自らの名を下賜なされた「寛仁親王牌世界選手権記念トーナメント」（1992年～）では「世界のスポーツ、ケイリン！」をキャッチフレーズに競輪の国際化に尽力、2000年シドニーからのオリンピック競技「KEIRIN」誕生にお力添えをなさいました。



*大会名「寛仁親王記念ワールドグランプリ」は、三笠宮彬子女王殿下の御承諾を戴いた名称です

寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会の開催経緯

- **1990年** (平成2年)
寛仁親王殿下名譽総裁のもと前橋・宇都宮で世界選手権自転車競技日本大会 (トラック・ロード) 開催
- **1992年～** (平成4年～)
「寛仁親王牌世界選手権記念トーナメント」開催、KEIRINの国際化・オリンピック種目採用に尽力される
- **2000年** (平成12年)
シドニー五輪でケイリンが正式種目、殿下主導の2012年を目指すオリンピック攻略プロジェクト始動
- **2009年** (平成21年)
世界選手権開催20周年を記念した「寛仁親王牌ワールドグランプリ」が企画される (未実施)
- **2012年** (平成24年) 6月6日
寛仁親王殿下ご逝去
- **2014年** (平成26年) 7月4～7日 於：伊豆ベロドローム
第1回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第55回全日本学生選手権自転車競技大会トラックと併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス3大会として登録。
日本国内初のUCIパラサイクリング・カレンダー登録大会 (パラサイクリング・クラス2) となる。
主催：NPO法人CSSシクロ 競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2016年** (平成28年) 2月6～7日 於：伊豆ベロドローム
第2回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
全日本学生トラックレースシリーズ最終戦と併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス2大会として登録。
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
- **2016年** (平成28年) 7月8～10日 於：伊豆ベロドローム
第3回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2017年** (平成29年) 7月7～9日 於：伊豆ベロドローム
第4回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2018年** (平成30年) 7月6～8日 於：伊豆ベロドローム
第5回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2019年** (令和元年) 7月13～14日 於：松本美鈴湖自転車競技場
第6回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第3回全日本学生選手権オムニアム大会と併催/UCIクラス2トラック国際大会
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2020年** (令和2年) 2月23日 於：明治神宮外苑
第7回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第14回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2021年** (令和3年) 3月7日 於：明治神宮外苑
第8回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第15回明治神宮外苑大学クリテリウム兼第22回全日本学生選手権クリテリウム大会と併催
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2021年** (令和3年) 7月3～4日 於：松本美鈴湖自転車競技場
第8回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
The 7th JICF International Track Cup 2021 兼 第5回全日本学生選手権オムニアム大会と併催
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟

第16回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長

村岡 功

President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA



本年も第16回 明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことを喜ばしく存じます。

2020年初頭から続くコロナ・パンデミックは一進一退の感がありますが、徐々に日常生活の中にスポーツシーンを取り戻しつつあります。昨年には日本国内でオリンピック・パラリンピックも開催され、本連盟出身選手も大変活躍されました。殊に筑波大学大学院の梶原悠未選手がトラック・オムニウムで準優勝されたことは、当時日本大学学生であった坂本勉選手がロサンゼルス・オリンピックのスプリント種目において、日本人自転車競技者として初のオリンピック・メダリストとなって以来の快挙と言えましょう。日々のトレーニングや大会参加、戦略思考の着実な積み重ねが成果として結実したものとお慶び申し上げます。

昨年には本連盟主催事業は概ね計画に沿って実施され、本大会も全日本ロードレースカップシリーズの最終戦として開催することができた状況となりました。ここまでのシリーズ戦開催地の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後はすべての加盟校が不自由なく大会に参加でき、従来のようにオーストラリアやオランダの学生との交流機会が復活することを期待しております。

第16回目の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、東京都、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同いただき多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様方に対し、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

時 程 表 / TIME TABLE

2月26日(土) 14:00-17:00	第12回 大学自転車競技フォーラム東京 「コロナ禍で見てきた大学教育の将来 - 学生はどのように向き合うべきか -」 リモートセミナー 拠点会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター (センター棟4階401)	26 Feb (Sat) The 12th University Cycling Forum Tokyo at National Olympic Memorial Youth Center, Center Building, 4th floor Room 401
2月27日(日) 6:00 7:30 9:00 9:00-9:30 10:00 10:20 10:50 11:15 12:00 12:20 13:00 13:25 13:50 14:20 15:10 17:00	会場設営開始 競技役員・立哨役員集合打合わせ 交通規制開始 参加選手受付・ゼッケン配布 開会式 オープン&ウォームアップ・ライド 1.5km × 5 laps = 7.5km タイムトライアル(小・中学生、マスターズ、ハンドサイクル) 1km × 1 lap = 1km (銀杏並木Uターンなし) 男子大学生 グループ3 A組 男子大学生 グループ3 B組 男子大学生 グループ3 C組 1.5km × 4 laps = 6km マスターズ・クリテリウム 1.5km × 8 laps = 12km 表彰式(午前の部) 立哨役員昼食(コース閉鎖) 男子大学生 グループ2 A組 男子大学生 グループ2 B組 1.5km × 8 laps = 12km 女子(学連登録選手+JCF登録競技者) 1.5km × 8 laps = 12km 男子大学生 グループ1 (大学対抗) 1.5km × 20 laps = 30km 表彰式・閉会式(午後の部、大学対抗・シリーズ総合) 規制解除(予定:早まる場合があります)	27 Feb (Sun) Course installation Commissaires & Marshalls meeting Start of Public traffic control Body Number distribution Opening Ceremony Open & Warm-up Ride Time Trial (Kids, Master's, Handcycle) Students Men Group-3-A Students Men Group-3-B Students Men Group-3-C Masters (over 30) Criterium Awards Ceremony Lunch Break / circuit close Students Men Group-2-A Students Men Group-2-B Women (JICF + JCF) Students Men Group-1 (University Team Match) Awards & Closing Ceremony End of Public traffic control

式 次 第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式	10時30分より スタート・フィニッシュ地点にて (役員・選手整列はいたしません。場内アナウンスをお聞きください。)
開会宣言 主催者挨拶 RCS門田杯返還 選手宣誓	栗原 拓海 日本学生自転車競技連盟学生委員長 村岡 功 日本学生自転車競技連盟会長 鈴木 浩太 前々年度 RCS総合リーダー / 明星大学 川野 碧己 前年度男子大学生クリテリウム優勝者 / 慶應義塾大学
表 彰 式(午前の部)	12時20分より スタート・フィニッシュ地点にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください。)
表 彰	小・中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル 男子大学生グループ3A, 3B, 3C マスターズ・クリテリウム
表 彰 式・閉 会 式	15時10分より スタート・フィニッシュ地点にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください。)
表 彰	男子大学生グループ2A, 2B 女子クリテリウム 男子大学生グループ1 (大学対抗) 大学対抗チーム優勝杯贈呈 全日本学生ロードレースカップシリーズ総合表彰
歓送のことば 閉会宣言	井関 康正 日本学生自転車競技連盟副会長 松倉 信裕 日本学生自転車競技連盟理事長



@JCF

AIR SPEED

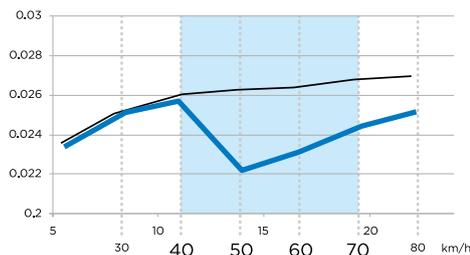
ロードバイクの有効速度に特化して開発した
空気抵抗軽減素材「スピードセンサー®Ⅱ」

エアスピードシリーズ

2021年日本ナショナルチームのウェアにも採用された空気抵抗軽減素材「スピードセンサー®Ⅱ」を使用したオーダーウェアのハイエンドモデル。乗車姿勢を忠実に再現した超立体設計で動きやすさもアップ。トップ選手が使用する、レース志向のサイクリストに人気のウェアです。エアスピードシリーズは、半袖ジャージ、ビブパンツ、半袖ロードスーツ、長袖ワンピースをご用意しています。



エアスピード半袖ジャージ エアスピードビブパンツ



風洞実験や PIV 測定を繰り返し、作られた素材は、レースでの速度域にあたる 40km/h から空気抵抗の軽減効果が加速し、50km/h 付近で空気抵抗の軽減が最大化する (青線がスピードセンサー®Ⅱ)

トップアスリートに選ばれるクオリティ

パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高性能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。



株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461



オーダーサービスの
ページはこちら

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表

大会会長	村岡 功	日本学生自転車競技連盟会長
大会副会長	井関 康正	日本学生自転車競技連盟副会長

大会実行委員会

レース・ディレクター	松倉 信裕	日本学生自転車競技連盟理事長 国際自転車競技連合国際コミッセール
------------	-------	-------------------------------------

設営・立哨統括	森川 和之	日本学生自転車競技連盟理事
レセプション統括	古賀 岳文	日本学生自転車競技連盟常務理事
感染対策統括	武田 彰	日本学生自転車競技連盟常務理事
	中川 敏彦	日本学生自転車競技連盟常務理事

感染対策顧問・医師	橋都 浩平	
アドバイザー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事

WEB配信統括	古田 雅拓
---------	-------

映像記録統括	十時 隆櫻
--------	-------

スタッフ	古田 雅拓
------	-------

運営スタッフ(本部)	栗原 拓海	前島 稔輝	石田 幹太
	石田 真大	本野 伶汰	
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員		

競技運営

チーフ・コミッセール	荒井 純一	日本学生自転車競技連盟常務理事
------------	-------	-----------------

フィニッシュ・ジャッジ	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟常務理事
-------------	-------	-----------------

モト・コミッセール	大島 環	池内 直人	西沢 倭義
	石田 正樹	玉木 伸雄	

セクレタリー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事
--------	-------	---------------

通告・音響・解説	芦田 千里 (MC)	高島 陽介 (PA)	寺部 和貴 (PA)
	栗村 修		

アシスタント・コミッセール	日本学生自転車競技連盟審判部会 東京都自転車競技連盟 ほか		
---------------	----------------------------------	--	--

中川 敏彦	武田 彰	森川 和之
古賀 岳文	古川 利勝	白石 規哲
近嵐 智加良	藤井 寿	村田 隆宣
十時 隆櫻	蛭川 滉太	古田 雅拓
長谷川 哲也	平 武	遠藤 隆史
岡和田 真治	川村 隆	小島 裕樹
小林 雄仁	鈴木 克典	津島 智泰
富澤 一慶	中桐 確	長坂 堅太郎
服部 伸一朗	花田 恭子	藤井 由紀子
本間 丈夫	宮内 忍	村野 拓司
山浦 一郎	山崎 英臣	若生 宏

(順不同)

救 護

大会公式ドクター	金子 稔
看護師	黒澤 怜

アンチ・ドーピング検査

JADA リード D.C.O. 青沼 修司

JADA D.C.O. 鍵和田 知明

小久保 ゆき

NF Rep

青木 康博 (JCF ドーピング検査連盟代表)

古瀬 精一

大津 成夫

佐藤 洋子

コース・マーシャル (立哨役員)

手塚 智大
 小堀 陽人
 山根 拓斗
 吉田 智也
 金子 直弘
 荒牧 章太
 大橋 真慧
 千葉 将太
 川上 隆義
 鈴木 知治
 大橋 佑太
 中村 圭吾
 小谷 龍也
 海野 有輝
 平川 稜将
 青木 拓穂
 岩本 遼
 田中 翠
 氏原 真之介
 山田 颯
 田中 遥香
 柴山 航一郎
 服部 幸之助
 今井 純志
 片野 樹
 高橋 歩夢
 高橋 太郎
 西岡 那菜
 前畑 優菜
 古谷田 雅博

日本学生自転車競技連盟審判部会

日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・学生

作道 美優
 野島 理沙子
 内田 陸斗
 平田 碧海
 初田 寛太
 伊藤 恭
 依田 淳之介
 山本 大地
 角 宗哉
 岩永 湊
 手塚 智仁
 三神 遼矢
 大塩 斗和
 小西 涼太
 福地 晶
 新井 愛菜
 小林 美袖
 青島 冬弥
 田崎 康平
 利光 宏太
 川村 俊輝
 熊木 裕紀
 中島 陽太
 鴨下 拓弥
 荒川 達郎
 秋山 智広
 山本 拓海
 畠中 仁
 南方 隆司
 伊澤 雄次

古田 陸志
 辻野 かなう
 杉岡 巧真
 中野 裕友
 桐谷 健慈
 市田 龍生都
 木村 颯希
 鈴木 敬将
 市川 光人
 金子 颯馬
 林 佳宗依
 嵯峨 旭陽
 三井 大勢
 阿部 セラ
 横溝 貫太
 大塚 桃子
 小林 右京生
 島田 柊生
 鈴木 浩太
 鴨狩 侑奈
 諸隈 健太郎
 井上 慧
 清水 敦希
 小口 加奈絵
 菅野 愛華
 榎木 啓樹
 中西 優人
 村田 麻弦
 石上 秀樹

会場設営・警備

株式会社シミズオクト

協力

東京都自転車競技連盟

株式会社なるしまフレンド

Kデザイン・カンパニー

シクロチャンネル

後援

明治神宮外苑

新宿区

公益財団法人日本自転車競技連盟

公益財団法人日本サイクリング協会

(順不同)

協賛

井上ゴム工業株式会社

株式会社イノアックコーポレーション

株式会社日直商會

株式会社パールイズミ

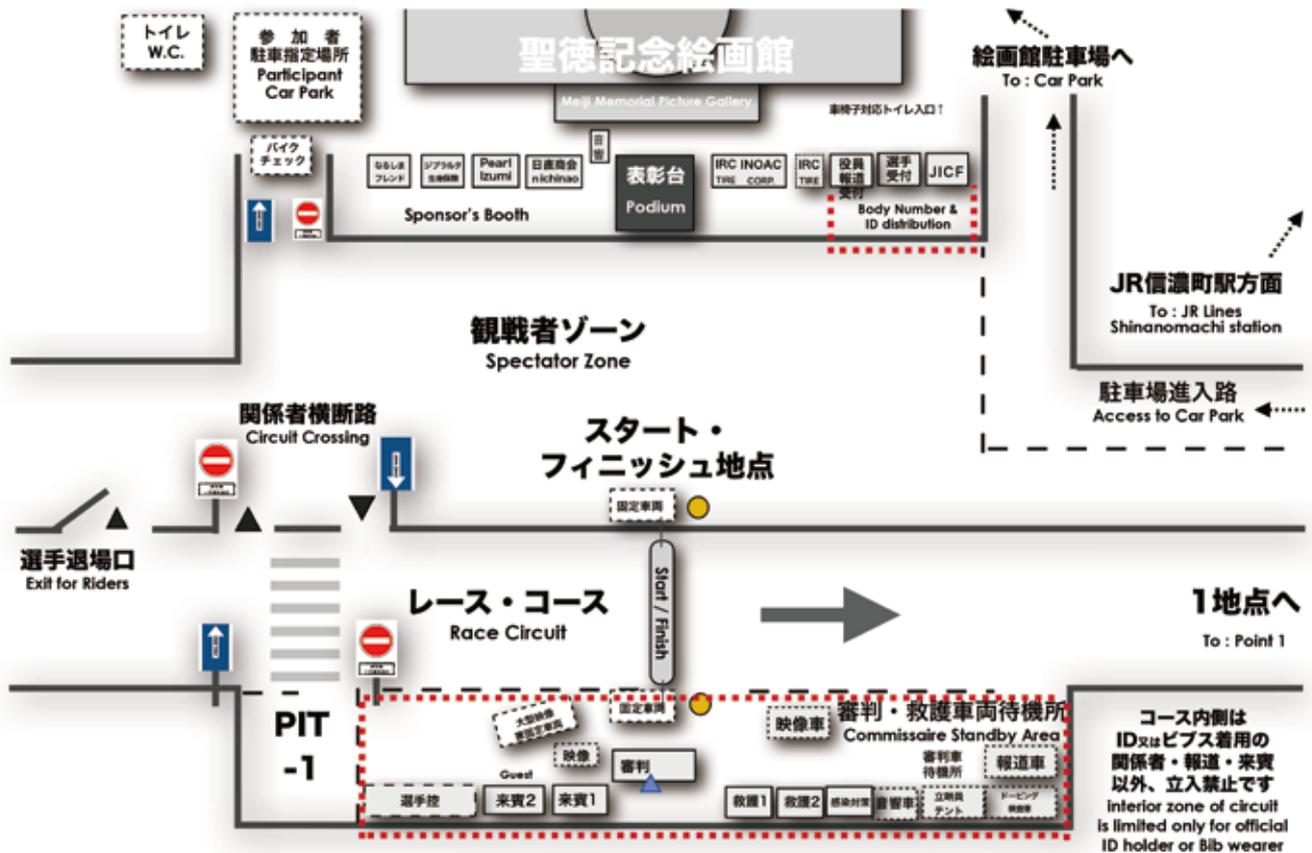
ジブラルタ生命保険株式会社

株式会社オージーケーカブト

有限会社横尾双輪館

(順不同)

スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



来場者の皆様へ

- ◎レースは、コース外側からご観戦ください。
- ◎コース内側は関係者以外立ち入り禁止とさせていただきます。
- ◎コース内側の運動施設をご利用の方は、係員にお申し付けください。
コース横断のご案内をいたします。
- ◎なにかとご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、
ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Dear Spectators,

- ◎ Please watch from outside the fenced area, and stay within the Spectator Zone.
- ◎ Please do not enter the Race Circuit at all times.
- ◎ Please make sure to contact your nearest staff when crossing Circuit Crossing.
- ◎ We apologize in advance for any inconvenience, and thank you for your kind understanding and cooperation.

大会本部：Race Office at S/F

聖徳記念絵画館正面

スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 Hours 08:00-16:00

電話 Tel. 090-2207-2369

最寄りの病院：Nearest Hospital

慶應義塾大学病院

KEIO University Hospital

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35 番地

Tel. 03-3353-1211 (代表)

テクニカル・ガイド

v20220122

- 大会日程 2022年2月27日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
- 会場 明治神宮外苑周回コース 1周1.5km (東京都新宿区・港区)
- 大会主旨 本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをめ目指す。
- 主催・主管 日本学生自転車競技連盟
- 後援 明治神宮外苑 新宿区 公益財団法人日本自転車競技連盟
公益財団法人日本サイクリング協会 (順不同)
- 会場警備 株式会社シミズオクト
- 協力 東京都自転車競技連盟 シクロチャンネル Kデザイン・カンパニー
株式会社なるしまフレンド
- 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会
株式会社パールイズミ ジブラルタ生命保険株式会社 株式会社オージーケーカブト
有限会社横尾双輪館 (順不同)
- 競技規則 国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。
- 競技種目および参加資格
- (全カテゴリ共通事項)
- 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」および大会時の感染対策コミュニケーション記事事項を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。(ガイドライン) https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2021/06/JICF_kansenshoushi_guideline_V20210616.pdf
 - ※本大会では、参加者全員に、来場前の「PCR検査」もしくは「ワクチン2回以上接種+抗原検査」が義務付けられます。詳しくは今後発行のコミュニケーションを参照ください。
 - 当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナウイルス罹患を疑われる場合には、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
 - 選手・立哨員・チームスタッフ等全ての会場入場者は、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
 - 大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
- (1.2.3.4.5.7.9. 参加資格共通事項：本年度公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者)
- (1.~3. 参加資格共通事項：日本学生自転車競技連盟登記選手)
- 参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものは、本大会グループ2での発走とする
- (1.~5. は競技用ロードレーサー使用のこと、6. 8. は自転車の制限は特にありません)
- 男子大学生大学対抗(グループ1) 20周30km
本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。本連盟が招聘したチーム、1チームあたり2名から3名までの選手。グループ1の申込者に正当な理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。また、グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。また、選手交代届については、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。2名未満のチームは参加することはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認める。
 - 男子大学生グループ2 8周12km
本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。
 - 男子大学生グループ3 4周6km
本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。
 - 女子クリテリウム 8周12km
(公財)日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。
 - マスターズ・クリテリウム 8周12km
本年度(公財)日本自転車競技連盟登録選手(男女)で、開催年1月1日時点で満30歳以上の者。ただし、集団スタートロードレース(JCF公認大会)走行経験者に限ります。
 - 小・中学生タイムトライアル 1周1km(銀杏並木Uターンなし)
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。
 - マスターズ・タイムトライアル 1周1km(銀杏並木Uターンなし)
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年登録選手(男女)で、開催年1月1日時点で満30歳以上の者。
 - オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7.5km
ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。および上記1から7、9に参加するすべての者。
 - ハンドサイクル・タイムトライアル 1周1km(銀杏並木Uターンなし)
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者(男女)
各カテゴリとも上限概ね60名(オープン&ウォームアップ・ライドは概ね100名)迄。
日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数 (東京および隣接県の学校)	供出立哨役員数 (左記以外の学校)
1	0	0
2～3	1	0
4～5	2	1
6～7	3	1
8以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て・最低数)	選手4名につき1名 (同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約100カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

・大会本部用テントの供出数

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

参加申込

・参加を希望する選手は、1月31日(月)午前12:00迄に学連ホームページ掲載の所定のエントリー用紙にて jicf.rcs.entry@gmail.com宛に申込書、ライセンスデータを送付の上、参加費の支払を済ませること。

グループ1については同一期限内にユニフォーム・データ(半袖上半身)も送付すること。

(同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと)

振り込み先:長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟

支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。申込後の欠場についてはコロナ禍に鑑みペナルティは課さないが、連絡は事前に行うこと。

・参加料は、男子大学対抗グループ1参加チームは1チーム5万円、その他のカテゴリは本連盟登録大学生6,000円、小・中学生500円(新宿区・港区在住もしくはは在学の小中学生は300円)、女子オープン8,000円、マスターズ・クリテリウム、マスターズ・タイムトライアル各8,000円、但しマスターズ・クリテリウムとタイムトライアル2種目参加時は12,000円、オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は3,000円とする。ハンドサイクル・タイムトライアルは8,000円とする。

・参加料には、駐車料金は含まない。

・今年度はプログラムへの選手顔写真掲載は行いません。

・グループ1に参加のチームは、プログラム広告を出すことができる。広告原稿締め切り日は2月2日、締切間に合わない原稿は掲載されない。

広告データの作成の注意点 データの仕上がり寸法:仕上がり(高さ80mm×左右170mm)、

データの作成アプリケーションと保存方法について:PDF/X-1a:2001形式(Acrobat4:PDF 1.3)で保存したPDFデータをお願いします。X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いて、ファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a:2001と記載されています。X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。もしくはJEPG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS6以前のデータで保存してください。イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、なるべく、X-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。

感染対策チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、感染対策に関するチーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が本連盟感染防止ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底するなどして、感染拡大防止に努めなければならない。

事前チーム代表者会議

2022年2月24日(木)20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。

チーム監督・感染対策チーム責任者は出席のこと。

会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に連絡する。

大会本部

聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話 090-2207-2369

選手受付

大会本部にて、9:00-9:30の間にゼッケンを受取ること。(小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドはライセンス不要)

事故措置

1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

会場入場

1. 本大会の観戦はインターネット配信を通じてご覧下さい。現地への来場はできるかぎりお控え下さい。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ1名を上限として会場への入場を許可します。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大2名までとします。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれ、立哨員は含まれません。また、アテンダントスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入下さい。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可致しません。

アテンダントスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておき、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のアテンダントスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催2日前の20時までには当連盟事務局あてに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めません。なお、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とします。

メディア

メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催2日前の20時までには取材申請書をメールで事務局宛に提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して保存頂き、必要に応じて提出して頂く場合があります。状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

特別規則

- 第1条 (個人順位)
最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。
- 第2条 (大学対校順位)
男子大学生グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。
- 第3条 (周回獲得、遅れ)
主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合にはコミッセルの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。
- 第4条 (中間スプリント賞)
男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。また、女子及びマスターズについては4周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。
- 第5条 (事故)
認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子・マスターズは4周、グループ3は2周を除き、1週のニュートラリゼーションが認められる。器材修理は、指定されたピット(S/F地点および銀杏通りUターン部)においてのみ認められる。
- 第6条 (飲食物補給)
飲食物の補給は認めない。
- 第7条 (自転車)
公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。
- 第8条 (無線装置)
競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。
- 第9条 (ギア比)
大学生ジュニア選手のギア比の制限は3月31日時点の年齢を適用して行う。タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比はJCF規則による。
- 第10条 (賞典)
オープン&ウォームアップ・ライド 参加者全員に参加賞(表彰式はありません)
小中学生タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)
マスターズ・タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)
親子孫家族表彰 小中学生+マスターズ・タイムトライアル2名合計タイム最上位者に賞品
以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。
マスターズクリテリウム、女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3
優勝者: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状
大学対校順位 優勝校: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状
大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。
ハンドサイクル 別途定める
- 第11条 (その他)
ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティーを科す。

注意: 大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先: 日本学生自転車競技連盟

電子メール: jicf@remus.dti.ne.jp (問い合わせ) jicf.rcs.entry@gmail.com (エントリー)

ホームページ: <https://jicf.info/>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

電話 090-2007-2369 FAX 03-6804-2329 (電話は原則として毎週水曜19時-21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。)

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守することと誓います。

- UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004、JCF 規則第5条 2.(4))
- 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2(9) 準用)
- 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI 規則 1.1.078)
- チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI 規則 1.1.079)
- チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI 規則 1.1.080)
- すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI 規則 1.2.079)
- 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI 規則 1.2.081)
- 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI 規則 1.2.082)

2022年5月18日(水)
19日(木)
開催!



入場

無料

電動モビリティ
試乗コーナー

有り

BICYCLE-E-MOBILITY CITY EXPO 2022

自転車 - 電動モビリティまちづくり博

in 東京ドームシティ・プリズムホール

主催： BICYCLE-E-MOBILITY CITY EXPO 2022 実行委員会
(運営事務局：株式会社ライジング出版)

後援： 自転車活用推進議員連盟／自転車活用推進本部／国土交通省／経済産業省／スポーツ庁／一般社団法人自転車協会／一般財団法人自転車産業振興協会／一般財団法人日本自転車普及協会／一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟／一般社団法人自転車駐車場工業会／NPO 法人自転車活用推進研究会／日本自転車軽自動車商協同組合連合会／東京都自転車商協同組合／認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会／一般社団法人日本シェアサイクル協会／自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会／全国自転車施策推進自治体連絡協議会／公益財団法人東京都環境公社 (クール・ネット東京)

特別協賛： アイキューソフィア株式会社
協力： 警視庁交通部



<会場>

東京ドームシティ・プリズムホール
JR・地下鉄水道橋駅徒歩2分

お問い合わせ

BICYCLE-E-MOBILITY CITY EXPO2022 事務局 (株)ライジング出版内
Tel. 03-5276-3075・3076 Fax. 03-5276-3088

<http://www.rising-publish.co.jp>

Mail. bicycle-emobility.expo@rising-publish.co.jp

第12回 大学自転車競技フォーラム 2022 東京

「コロナ禍で見えてきた大学教育の将来 — 学生はどのように向き合うべきか —」

新型コロナウイルスの世界的広がりにより、遠隔授業やサイクリング・e-レースなど、新たな生活習慣が確立しつつあるように見えます。こうした時代の変化を取り上げ、その学生生活の将来を考えます。

期日 2022年2月26日(土) 14:00より

場所 WEB会議(ZOOM利用) +

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 4階 401 研修室

*会場の密を避けるため聴講希望の方は出来るだけ zoom にて参加頂くようお願いします。

13:30 会場受付開始 (zoom open 13:50)

司会 三宅秀一郎 日本学生自転車競技連盟

14:00 開会挨拶 井関 康正 日本学生自転車競技連盟副会長

14:05 講演

1 「コロナ禍で見えてきた大学教育の将来 — 学生はどのように向き合うべきか —」

河合 久

中央大学学長 国際経営学部教授 自転車競技部部长

2 「(仮題) コロナ禍の学業と競技活動」

今村 駿介

2021年度全日本選手権トラック中距離4種目優勝・中央大学OB)

中島 涉

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ総合1位・立教大学)

仮谷 和駿

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ総合2位・日本大学)

— 休憩

15:00 意見交換・質疑応答

15:25 閉会挨拶 村岡 功 日本学生自転車競技連盟会長

15:30 閉会

聴講無料ですが、下記まで2月25日迄にお申し込みください。

<https://forms.gle/814KCusVUTg1iR2s8>

主催：日本学生自転車競技連盟

郵便番号160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

Website: <https://jicf.info> E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp

出走者一覧 / START LIST

オープン&ウォームアップ・ライド (レースではありません)
OPEN & WARM UP RIDE10:20 スタート
1.5km×5周=7.5km

ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名
390	近藤 浩基	391	清水 秀和	392	松倉 信裕
393		394		395	

小中学生タイムトライアル
KIDS TIME TRIAL10:50 スタート
1km×1周=1km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	学年	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	371	鎌田 晃士	KAMATA, Akito	小1	10:50:00	: : "	分 秒
2	372	高丸 凰雅	TAKAMARU, Fuga	小1	10:50:30	: : "	分 秒
3	373	宮崎 結葉	MIYAZAKI, Yuiha	小2	10:51:00	: : "	分 秒
4	374	關根 颯斗	SEKINE, Hayato	小3	10:51:30	: : "	分 秒
5	375	田中 雄大	TANAKA, Yuta	小3	10:52:00	: : "	分 秒
6	376	大村 蓮仁	OHMURA, Renji	小4	10:52:30	: : "	分 秒
7	377	山口 虎太郎	YAMAGUCHI, Kotaro	小5	10:53:00	: : "	分 秒
8	378	芝山 瑠透	SHIBAYAMA, Ruito	小6	10:53:30	: : "	分 秒
9	379	鈴木 千史	SUZUKI, Chifumi	中2	10:54:00	: : "	分 秒
10	380	毛利 瑞紀	MOURI, Mizuki	中2	10:54:30	: : "	分 秒
11	381	筒井 楓	TSUTSUI, Kaede	中2	10:55:00	: : "	分 秒
12	382	筒井 和	TSUTSUI, Yamato	中3	10:55:30	: : "	分 秒
13	383	坂上 幸太郎	SAKAGAMI, Koutaro	中3	10:56:00	: : "	分 秒
14	384				10:56:30	: : "	分 秒

マスタース & ハンドサイクルタイムトライアル
MASTER'S TIME TRIAL & HANDCYCLE TIME TRIAL11:00 スタート
1km×1周=1km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	332	Lange Julien	LANGE, Julien	11:00:00	: : "	分 秒
2	333	森 榮 晃彦	MORISAKA, Akihiko	11:00:30	: : "	分 秒
3	341	末岡 正充	SUEOKA, Masamitsu	11:01:00	: : "	分 秒
4	347	影森 信一郎	KAGEMORI, Shinichiro	11:01:30	: : "	分 秒
5	355	山本 康雄	YAMAMOTO, Yasuo	11:02:00	: : "	分 秒
6	356	安田 忠勲	YASUDA, Tadaisa	11:02:30	: : "	分 秒
7	357	寺本 達哉	TERAMOTO, Tatsuya	11:03:00	: : "	分 秒

ハンドサイクル タイムトライアル

8	361	官野 一彦	KANNO, Kazuhiko	11:05:00	: : "	分 秒
---	-----	-------	-----------------	----------	-------	-----

男子大学生 グループ3 A組

GROUP-3-A / UNIVERSITY STUDENT-MEN

11:15 スタート

1.5km×4周 = 6km

ゼッケンNo.	氏名	Name	大学名 (Name of Team)	学年	記録 (Time)	Rank
151	伊藤 想大	ITO, Souta	北海道大学	2	' "	
152	井上 由崇	INOUE, Yoshitaka	筑波大学	1	' "	
153	山口 颯斗	YAMAGUCHI, Hayato	順天堂大学	2	' "	
154	神保 大地	JINBO, Daichi	慶應義塾大学	3	' "	
155	清水 拓海	SHIMIZU, Takumi	慶應義塾大学	2	' "	
156	高澤 惇弥	TAKAZAWA, Atsuya	成蹊大学	4	' "	
157	萩原 隆治	HAGIWARA, Ryuji	成蹊大学	1	' "	
158	長坂 和輝	NAGASAKA, Kazuki	東京大学	1	' "	
159	大林 哲士	OHBAYASHI, Satoshi	東京工業大学	2	' "	
160	北林 大地	KITABAYASHI, Daichi	日本大学	2	' "	
161	金子 侑太郎	KANEKO, Yutaro	一橋大学	4	' "	
162	下川原 誠悟	SHIMOKAWARA, Seigo	法政大学	2	' "	
163	野中 龍之介	NONAKA, Ryunosuke	明治大学	2	' "	
164	反保 亮太	TANPO, Ryota	明星大学	1	' "	
165	宮田 陵平	MIYATA, Ryohei	立教大学	3	' "	
166	服部 侑祐	HATTORI, Yusuke	立教大学	2	' "	
167	志田 拓也	SHIDA, Takuya	東海大学	1	' "	
168	原田 龍治	HARADA, Ryuji	新潟食料農業大学	3	' "	
169	空木 拓海	UTSUROGI, Takumi	新潟食料農業大学	1	' "	
170	澤田 侑児	SAWADA, Yuni	山梨学院大学	2	' "	
171	井上 智巴	INOUE, Tomoha	信州大学	1	' "	
172	岸本 宙斗	KISHIMOTO, Hiroto	中京大学	1	' "	
173	池沢 一真	IKESAWA, Kazuma	立命館大学	2	' "	
174	森内 勇輔	MORIUCHI, Yusuke	立命館大学	1	' "	
175	細見 康祥	HOSOMI, Kousho	龍谷大学	3	' "	
176	尾崎 祐司	OZAKI, Yuji	大阪医科薬科大学	1	' "	
177	平尾 優斗	HIRAO, Yuto	大阪経済大学	1	' "	
178	岩田 祥真	IWATA, Shoma	大阪工業大学	2	' "	
179	伊関 大智	ISEKI, Taichi	関西大学	3	' "	
180	森山 大吾	MORIYAMA, Daigo	関西大学	2	' "	

男子大学生 グループ3 B組
 GROUP-3-B / UNIVERSITY STUDENT-MEN

 グループ3A 終了後スタート
 1.5km×4周 = 6km

ゼッケンNo.	氏名	Name	大学名 (Name of Team)	学年	記録 (Time)	Rank
181	高橋 耀	TAKAHASI, Akira	関西学院大学	1	' "	
182	畑崎 大輝	HATAZAKI, Daiki	八戸学院大学	2	' "	
184	塚田 濯	TSUKADA, Aro	順天堂大学	1	' "	
185	谷口 慧	TANIGUCHI, Satoshi	慶應義塾大学	3	' "	
186	六川 毅	ROKUGAWA, Tsuyoshi	慶應義塾大学	1	' "	
187	細越 学	HOSOGOE, Manabu	成蹊大学	4	' "	
188	板坂 吉純	ITASAKA, Yoshizumi	東京大学	3	' "	
189	西村 明展	NISHIMURA, Akihiro	東京大学	1	' "	
190	吉田 英生	Yoshida, Hideo	東京工業大学	2	' "	
191	高橋 まりお	TAKAHASHI, Mario	日本大学	1	' "	
192	和田 啓吾	WADA, Keigo	一橋大学	2	' "	
193	後藤 ゴウ	GOTO, Gou	法政大学	1	' "	
194	吉岡 優太	YOSHIOKA, Yuta	明治大学	2	' "	
195	渡邊 悠晴	WATANABE, Yusei	明星大学	1	' "	
197	小野 豪太	ONO, Gouta	早稲田大学	3	' "	
198	山本 和瑛	YAMAMOTO, Kazusa	日本体育大学	2	' "	
199	小田島 湧希	KODASHIMA, Yuki	新潟食料農業大学	2	' "	
200	福島 唯暉	FUKUSHIMA, Yuiki	新潟食料農業大学	1	' "	
201	下村 忠	SHIMOMURA, Tadashi	信州大学	4	' "	
202	滝沢 佳大	TAKIZAWA, Yoshihiro	信州大学	1	' "	
203	飯田 要次郎	IIDA, Youjiro	同志社大学	2	' "	
204	山本 丈留	YAMAMOTO, Takeru	立命館大学	2	' "	
205	来見田 光珠	KURUMIDA, Kouju	龍谷大学	3	' "	
206	黒川 泰平	KUROKAWA, Taihei	龍谷大学	2	' "	
207	井田 晃輔	IDA, Kousuke	大阪医科薬科大学	1	' "	
208	楠本 善次	KUSUMOTO, Zenji	大阪経済大学	1	' "	
209	熊田 祥大	KUMADA, Shota	大阪工業大学	2	' "	
210	黒瀬 亮介	KUROSE, Ryosuke	関西大学	2	' "	
211	永井 笙太	NAGAI, Shota	関西大学	1	' "	
212	頓宮 康生	TONGU, Kousei	近畿大学	2	' "	

男子大学生 グループ3 C組

GROUP-3-C / UNIVERSITY STUDENT-MEN

グループ3B 終了後スタート

1.5km×4周 = 6km

ゼッケンNo.	氏名	Name	大学名 (Name of Team)	学年	記録 (Time)	Rank
213	伊神 晴馬	IKAMI, Haruma	筑波大学	1	' "	
214	西田 圭	NISHIDA, Kei	作新学院大学	1	' "	
215	松田 侑大	MATSUDA, Yudai	学習院大学	2	' "	
216	小林 大悟	KOBAYASHI, Daigo	慶應義塾大学	2	' "	
218	中山 颯来	NAKAYAMA, Sora	成蹊大学	3	' "	
219	吉田 頌	YOSHIDA, Sho	東京大学	3	' "	
220	内田 崇志	UCHIDA, Takashi	東京工業大学	2	' "	
221	市丸 健太	ICHIMARU, Kenta	日本大学	3	' "	
222	向川 颯太	MUKOGAWA, Hayata	日本大学	1	' "	
223	恒友 崇志	TSUNETOMO, Takashi	一橋大学	1	' "	
224	上野 矢竜	UENO, Shiryu	明治大学	3	' "	
225	戸田 旺希	TODA, Oki	明星大学	2	' "	
226	丹波 星那	TANBA, Sena	明星大学	1	' "	
227	鹿島 楓太	KASHIMA, Futa	立教大学	2	' "	
228	齋藤 祥樹	SAITO, Yoshiki	東海大学	3	' "	
229	石井 麻希斗	ISHII, Makito	日本体育大学	1	' "	
230	山口 海翔	YAMAGUCHI, Kaito	新潟食料農業大学	2	' "	
231	藤井 悠羽	FUJII, Yu	新潟食料農業大学	1	' "	
232	LI RUIZI	LI, Ruizi	信州大学	2	' "	
233	稲田 雄星	INADA, Yusei	愛知大学	3	' "	
234	天野 裕稀	AMANO, Yuki	立命館大学	2	' "	
235	川内野 巧実	KAWACHINO, Takumi	立命館大学	1	' "	
236	小沼 芳暉	KONUMA, Yoshiki	龍谷大学	3	' "	
237	大塚 明	OHTSUKA, Akira	龍谷大学	1	' "	
238	太田 紘世	OHTA, Kousei	大阪経済大学	2	' "	
239	前田 雄大	MAEDA, Yudai	大阪工業大学	3	' "	
240	福田 博紀	FUKUDA, Hiroki	大阪産業大学	2	' "	
242	大田 郁	OHTA, Kaoru	関西学院大学	2	' "	
243	尾田 悠空	ODA, Yutaka	近畿大学	2	' "	